



人と自然，文化が輝く  
～持続可能な京北地域を目指して～

京都市 右京区役所 京北出張所

# 京北地域のすがた

「京都京北未来かがやきビジョン」から抜粋



- ・京北地域（以下、旧京北町を指す。）は、京都市の北西部に位置し、西と北は南丹市に接しています。
- ・面積は、**217.68 km<sup>2</sup>**で京都市全体の**4分の1**を占め、その**93%**は豊かな森林です。
- ・旧京北町は、昭和30年3月に周山町、細野村、宇津村、山国村、黒田村及び弓削村の1町5村が合併し、発足しました。
- ・その後、全国的に市町村合併が進む中で、歴史や文化のつながりがあり、通勤・通学等の日常生活圏が一体化していたことなどから、**平成17年4月に京都市との合併**に至りました。



# 京北地域のすがた

「京都京北未来かがやきビジョン」から抜粋

・主な産業（粋）

## ～京都のまちを支える農林業～

特に林業は、日本でも極めて古い歴史を持ち、**禁裏の御杣御料地**（都を造るための木材生産地）としてときの平安京の造営に膨大な量の木材を供給し、京都のまちづくりを支え、栄えてきました。現在も**北山杉の磨丸太**などの産地として、我が国の「木の文化」を支えているだけでなく、土砂崩れなどの災害が起こりにくくなる等の公益的機能の維持・増進にも寄与しています。

近年、京北地域の基幹産業である農林業は、需要の変化、従事者の減少、高齢化などにより、低迷が続いており、耕作放棄地や手つかずの山林の増加による貯留能力の低下が懸念されております。しかしながら、**新たな担い手の転入**や地域挙げての**6次産業化**、高付加価値農産品の栽培など、農林業の新たな動きも始まっています。

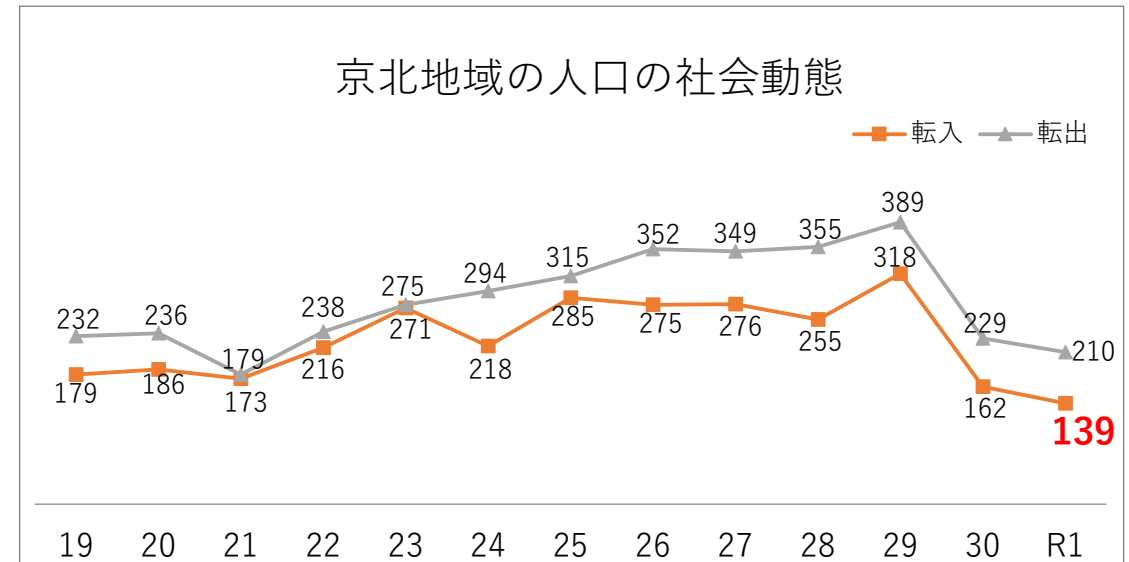
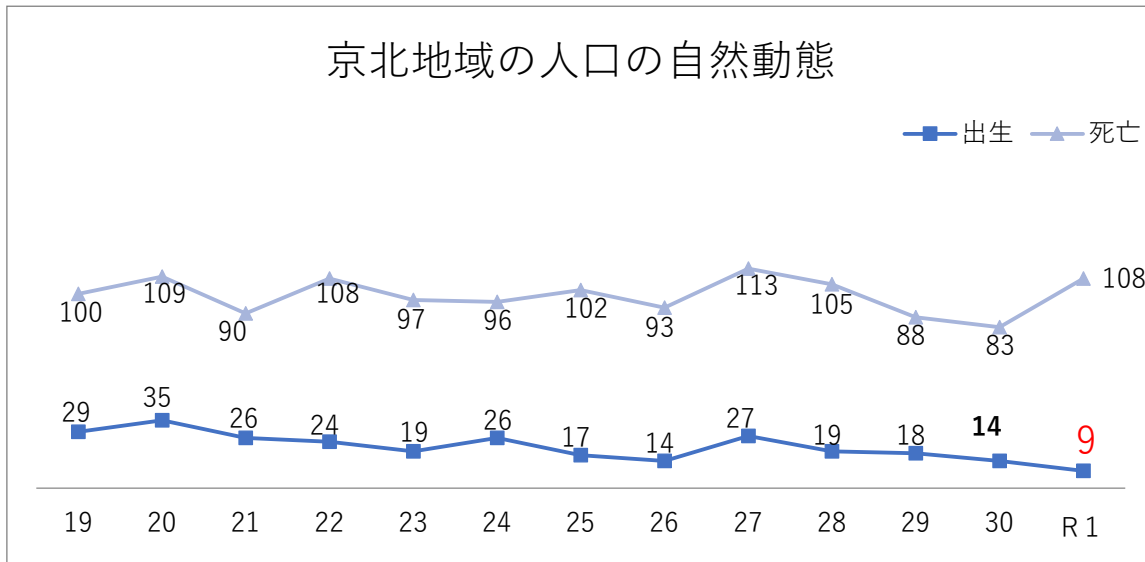
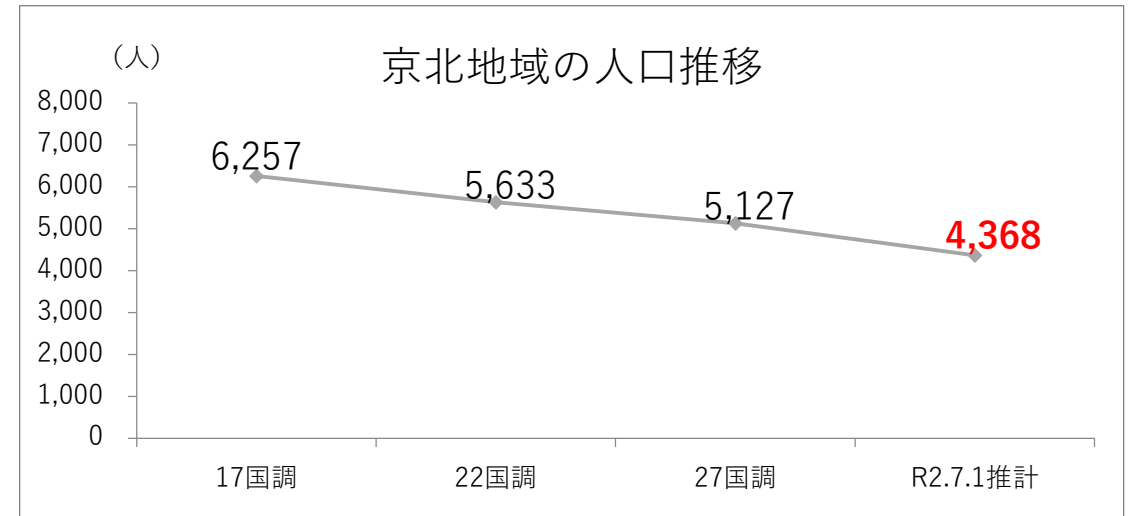
こうした状況を踏まえて、地域の景観、環境に配慮し、他産業とも連携した、新たな農林業の活性化を図っていくことが必要となっています。



# 京北地域の人口の状況

京都京北未来かがやきビジョン推進会議資料

- 人口は5年間で14.8%減少している。
- 少子・高齢化により自然動態（出生・死亡に伴う人口の動き）は減少が続く。
- 社会動態（転入・転出に伴う人口の動き）も減少傾向が続く。



# 京北地域の発展の土台づくり ～これまでの主な取組～

- ・道の駅「ウッディー京北」オープン（平成22年4月）
- ・「京北トンネル」の開通（平成25年12月）
- ・光ファイバーによるインターネット環境整備促進  
（平成29年2月からサービス開始）

- ・「京都京北小中学校」の開校  
（令和2年4月）

- ・農林業振興  
など





合併から10年が経過した平成27年，京北地域の持続的な発展に向け，まちづくりを担う様々な主体が，京北の未来像，重点戦略等を共有するため，

「京都 京北 未来かがやきビジョン」を策定しました。

ビジョンでは，10年後の京北の未来像として

「人と自然，文化が輝く，京本版創造農村」を目標に据え，「雇用（しごと）」「住まい」「子育て」の3つを視点に設定しました。

この視点に沿って実施する各取組について，

「まちの創造」「ひとの創造」「しごとの創造」「こころの創造」の4つの重点戦略に基づき，

地域住民，事業者，京都市が一体となって取り組むべき主要な施策・事業を掲げています。



# 京都京北未来かがやきビジョン推進会議について

京都京北未来かがやきビジョン推進会議資料

## 【京都 京北未来かがやきビジョン推進会議】

(R2年8月)

構成：京北自治振興会，自治会，関係団体，  
行政機関

目的：・かがやきビジョンの達成状況の共有  
・地域主体の取組の推進

## 【その他の方法】

アンケート 等

## 【ワークショップ】

テーマに応じて，  
参加を呼びかけ

連携

## 【京都超SDGsコンソーシアム】

構成：京都大学，リコー，ソフトバンク，安田産業，

JT，京都市 ほか協力企業・団体

・京都市をフィールドに，産学公が連携して，SDGsの達成に向けて，考え，行動し，発信する。  
・森林資源や生ごみなど，新たな資源・エネルギーの循環構築による**持続可能な中山間地域モデルの構築**（環境教育，農林業，暮らし方・働き方も含む）

連携

地域が主体となったまちづくり  
かがやきビジョンの実現へ

事業A  
(京都市  
関係部局)

プロジェク  
ト・取組  
(自治会・  
住民)

プロジェク  
ト・事業  
(事業者)

プロジェク  
ト・事業  
(NPO等)

プロジェクト  
(大学)

# 京北地域の更なる活性化へ

京都京北未来かがやきビジョン推進会議資料

5年後、10年後の未来像から、今すべきことを大胆に考える。  
そのアプローチ（手法）として、SDGsの視点を用いる。

## 【未来を語る】

例えば…

子育て環境の未来

教育の未来

農林水産業の未来

環境・資源の未来

暮らしの未来  
(住宅、交通他)



17のゴールは、互いに密接につながっている。  
自分の目標達成が地域の目標達成につながる。  
(社会、経済、環境の課題をつなげて考える)

○取組を進めていく流れ

【ゴールを設定する】  
住民一人一人の最適と  
地域の最適を見つける。

【チャレンジする】  
ゴールに向かう道筋を考  
えて、みんなでチャレン  
ジする。

【共有する・広げる】  
ゴールへの道筋とそれぞ  
れの取組・進捗を広く  
知ってもらい、共有す  
る。



(参考)

『京北のみんなで自分たちの未来の暮らしを語り合おう！』ワークショップ

## 第1回 『わたしたちの未来、こんな暮らしをしていきたい、 こんな京北地域にしていきたい！』

### ■話し合いの目的■

今回は、京都京北未来かがやきビジョン推進会議でみなさんと話し合う初めてのワークショップです。わたしたちがどのように暮らしていきたいかを出発点に、地域の将来について考えていきたいと思います。

今日のワークショップでは、まずはみなさん一人ひとりの将来の暮らしへの思い、生活目線から京北地域のこれからについて話し合います。

### ■進め方■「わたしの暮らし」の目線で話していきましょう。

#### ①自己紹介

『わたしは京北で将来このように暮らしていきたい・・・』

#### ②意見を出し合う

『わたしたちの将来に向けて、京北地域について思うこと』

- 「京北への希望」こうなっていてほしいイメージ
- 「京北の課題」わたしの気がかりなところ
- 「京北の可能性」わたしが可能性を感じる場所

#### ③意見をつないでみる

『わたしたちの将来のために、○○な京北になんてほしい』

みなさんの思いを共有して、「わたしたち」目線でこうなっていてほしいを表現。ひとつだけでなく、たくさんの将来イメージを作っていきます。

# ワークショップの今後のスケジュール

京都京北未来かがやきビジョン推進会議資料

SDGsの  
視点で

第1回  
10月9日

暮らしから思う  
未来を語る

11月頃

(子育て, 住まい, 仕事など,  
暮らし目線のテーマごとに話します)

12月頃

1月～2月

(自分・地域ででき  
ることについて話し  
ます)

※SDGs (エスディーズ) : 持続可能な開発目標。2015年9月国連総会で採択

- ・次年度以降も随時開催
- ・ワークショップの様子(写真)や内容(記録)は, ホームページ(京北出張所やコンソーシアム), ニュースレター(紙媒体)等で, 情報発信します

# 50年後，100年後に向けた 持続可能な山間地域の実現を目指して

## ～世界の京都の強みを徹底的に活かす～

京都には、歴史力、文化力、大学力、ものづくり力、観光力、宗教力、食文化力等々、そして何よりもそれらを支える地域力、人間力などさまざまな「力」があり、世界の京都の強みとなっています。

そして、京北地域は、豊かな自然に恵まれた中山間地域でありながら、京都市の都市部まで車で40分の近距離に位置します。

このような**世界の京都の強みを徹底的に活かす**り、**雇用**、**住まい**、**子育てなどの施策を展開できることは他都市には類を見ない大きな魅力**です。

この京北地域のまちづくりにより、京北地域と都市部が相互補完し、京都市全体の更なる発展につながることを期待されます。  
（「京都京北未来かがやきビジョン」）

**豊かな自然と充実したインフラ環境を最大限活用し、コロナ以降の山間地域への評価の高まりや多様な働き方等の動きを十分に捉え、京北地域の活性化の流れを確かなものとしてまいります。**

